

情報の抽出、的確に

システム
データベース
サテライト
システム

送電線
工事向け

管理システム開発

システム開発などを手掛けるシーサウスシステムズ（福岡市、猿渡豊繁社長）は、送電線工事・従事者情報管理システム「DB for Line eMan」（ディービー・フォー・ラインマン）（「を開発し、このほど発売した。施工中や過去の送電線工事に関する様々なデータを一括管理し、必要なときに必要な情報を的確に抽出する」といって

誇る。同システムを導入すると、①過去の工事の詳細情報や図面、写真②各提出先ごとに必要な資格一覧③職務別工事従事者リスト④特定の工事従事者の最新の資格や履歴⑤工事内容にマッチする協力会社リスト――などを、簡単に検索、抽出する」といって語る。

これらの情報はすべてエクセル・PDFファイルで出力可能。既存のブラウザを利用し、アクセス権限は個人単位で多

彩な権限設定ができる。

また、オプションとして、各社のデータベースに入力される工事情報や社員情報を同システムと連動させることも可能。さらに、同社データベースが、データのバックアップやシステム管理、ユーザーサポートなどを行うサービスも加えた。

送電線工事では、工事情報や施工記録、協力会社の情報などを紙やエクセルなどで保存しているケースが多い。これでは一括管理されていないため、多くの労力と時間をかけて必要な情報を探す必要があった。

猿渡社長は「業界からの要望を受け、約1年かけて作成した。送電線工事に必要な情報は十分盛り込めるシステム。販売初年度の売り上げは2千万円を目指したい」と意気込んでいる。